２０１４年度日本大学英語

解答

SECTION1

 1) ②

 2) ③

 3) ⑤

 4) ⑤

 5) ①

 SECTION2

 6) ②

 7) ④

8) ④

9) ③

10)⑤

SECTION3

11) ③

12) ③

13) ①

14) ②

15) ①

SECTION4

16) ④

17) ⑤

18) ⑤

19) ②

20) ①

21) ③

 22) ⑤

 23) ①

 24) ③

 25) ①

26) ①

 27) ⑤

28) ①

29) ⑤

30) ③

SECTION5

31) ③

32) ②

33) ⑤

34) ④

35) ①

SECTION6

36) ④

37) ①

38) ④

39) ①

40) ②

SECTION7

41) ⑤

42) ①

43) ⑤

44) ①

45) ③

SECTION1

 **1　②**

 ○investigate/**ɪnvéstəgèɪ**/を研究する○fatty/**fˈæṭɪ**/脂っこい

解説affect　A/他/Aに影響を与える、effect/**ɪfékt**/名/影響、他/変化をもたらす○tàke efféct「影響を持つ」、give effect toで「影響を与える」と使うことが一般的

1. ×/investigatedが過去形であるため、時制の不一致
2. ○/affect A の目的詞でour health、主節のinvestigatedとの時制の一致
3. ×/effectは名詞
4. ⑤×/動詞、時制は一致しているが用法にそぐわない

**2　③**

○prescription/処方箋

unless (you are) instructed otherwise

you areが省略されており、unless done otherwiseは頻出。他にdoneされない限り。

1. ×/in case of A/ Aの場合、後ろには名詞がくる
2. ×/regarding A/Aに関しては、後ろには名詞
3. ○/文脈から接続詞で適している
4. ×/until which untilの後には名詞、名詞句であり、不適当
5. ×/up to A/「Aによる」 up to you　「あなたに任せるよ」、会話文の中で頻出。

**3　⑤**

○consent/に同意する　○procedure/手続き

1. ×/結果として
2. ×/except for A/Aを除いて
3. ×/now that 主語＋動詞　「今や～であるからには」

Now that you are older, you must do it by yourself.

もう大きくなったのだから 1 人でやらなくてはならない.

1. ×/owing to A/Aのために
2. ○/If they should be necessary万一それらが必要ならば,倒置になっている。theyのあとに原動詞beは不自然であるため、助動詞が省略されていることが推測できる

**4　⑥**

○lymph /límf/リンパ　○node/結び目、結節　○lymph node/リンパ節　○indicate/を示す

○swell 腫れる　過去分詞swelled, swollen

①×/nodesで複数になっているため、不適当

②×/文節にそぐわない

1. ×/過去分詞でリンパ節を装飾するが、一般的にswollen lymphであるため不適当
2. ×/文法的に不適当
3. ○/swollen lymph nodesで腫れたリンパ節

**5　①**

○preventive/予防の　○approach in/への取り組み　〇cardiovascular/心循環系の

1. ○/patients (who are )at high cardiovascular risk might be

となり文章が成立する

1. ～⑤文章として成り立たないため、不適当

SECTION2

**6　②**

1. 正しい/I would (really) appreciate
2. 誤り/appreciate (it) if you could

appreciate A/Aを感謝する

appreciateは節を目的語にできないため、形式目的語のitが必要

③正しい/couldで丁寧な言い方

1. 正しい/a call back/「折り返しの電話」

⑤正しい/at your convenience/「あなたの都合のいい時に」

**7　④**

○credibility/信用性

1. ～　②正しい

③正しい/show that S＋Vとなるため正しい。by showing that で名詞句になっている。

④誤り/用法がS＋be動詞＋qualified to doであるため、誤り。

正しくは、you are qualified to talkとなる。

show that S＋V

⑤talk about A/「Aについて話す」

**8　④**

○life expectancy/ 平均余命　○infant mortality/乳児死亡率

1. ②正しい/life expectancyの最上級の装飾the highestで正しい

③正しい/Japanを主語とり、andでhasと並列となるため、三人称複数形

④誤り/while doingで「～する一方」、for a whileは前置詞句で「しばらくの間」

⑤正しい/比較half as～as 「～の半分」

**9　③**

○linguistically/言語的に ○appropriate/適切な　○crucial/重要である ○be associated with/を連想する

①正しい/Providing linguisticallyで動名詞句と副詞で正しい

②正しい/andで並列しており、culturallyは正しい。appropriate healthでhealthを形容しているので正しい。

③　誤り/動名詞句が主語なので複数形は誤り。正しくは単数形のis

④正しい/be crucial to doであるため正しい。

⑤正しい/他の述語と同様に動名詞句を装飾であるので、単数形で正しい。

**10　⑤**

○palliative/苦痛を軽減する ○comprehensive/理解力のある、包括的な

1. 正しい
2. 正しい/be to doで目的を表す
3. 正しい/supportを形容するために過去分詞系
4. 正しい/toのあとなので原型
5. 誤り/ofの後には名詞が必要であるため、誤り。center of excellenceが正しい。

SECTION3

**11　③**

①「迷惑する」

②「慎重な」

③「感謝する(＝thankful)」

④「苛々する」

⑤「尊敬される

**12　③**

①「到着する」

②「終える」

③hand in（＝submit）「を提出する」

④「離す」

⑤「合わせる」

**13　①**

①ask 人 a favor/「人にお願いをする」

②do人 a favor/「人のお願いをきく」

**14　②**

To whom it may concern/「関係者各位」ビジネスレターの決まり文句

**15　①**

○cardiac/心臓病の　cardiac arrest/心臓停止.　○witness/を目撃する

①「息をのむ」

②「対抗策」

③「一人前の」

④「後知恵で」

⑤「ロケット科学、難しいこと」

SECTION4

**16　④**

have a reputation as(of)　A/「Aという評判がある」

**17　⑤**

patient with A/「A病の患者」

**18　⑤**

①bring for A /「Aをもたらす」

②hope in A/「Aを願う」

③order out /「注文する」

④treat to A/「Aを扱う」

⑤wish A on B/「AをBに望む」

文脈に適さないため、②、⑤、意外は誤り。

hopeとwishの違いは、hopeは実現可能性の高い願望を表し、wishは実現可能性の低い願望を表す。特にかっこの前にwouldがあり実現可能性がかなり低いことを表しており、文脈的に実際実現した願いなどではないため、⑤が正解

**19　②**

①、②接続詞であり、文脈より②が正解

③～⑤副詞は文をつなげないため、不正解。

**20　①**

①、⑤以外はポジティブなため、後ろの文脈と合わないため誤り。

①difficult patient/「慢性疲労患者」

⑤thrilled/「ぞくぞくする」

**21　③**

haveで経験を並列しているため、bad experienceと同様にネガティブな選択肢であるrejected by「拒絶された」が正解。

**22　⑤**

②experience of A/「Aの経験」　medical careの経験は抽象的であるため、正解ではない

⑤experience with A/「Aに関する経験」

**23　①**

①分詞構文fully prepared for you to join the long listはtheyを装飾する

②expect that SVではVが過去形になることはないので、誤り

**24　③**

the list of　A「Aの一覧表」

**25　①**

①文脈よりネガティブな表現であるdisappointが正解

②get rid of A「Aを取り除く」

④sneek

**26　①**

①「早期に」

コロケーションより、類似した意味を持つが①が正解

**27　⑤**

④「迂回路、バイパス手術」

⑤do justice to A「Aを正当に評価する」

**28　①**

20のpatientと同じ単語があり、同一の患者を指しているため、difficultの言いかえ。

①complicated「複雑な」が正解。

②「お世辞を言われた」

**29　⑤**

theyがあるため、②、⑤の選択肢になり、後ろのbringの前におけるのは⑤wereで過去分詞のみで⑤が正解

**30　③**

①、③はthere仮主語で過去進行形は取れない

④、⑤は冠詞が必要

SECTION5

Conversation 1

**31　③**

○prescribe/を処方する○lightheaded/「飲みすぎ、熱でふらふらする」○bent/「曲げる」○last/「続く」○dosage/1回分の投薬量、適量

①symptoms/「症状」notが不適

②adverse effects/「副作用」changeではなくreduce

③consciousness/「意識」患者の3度目の発言と一致するため、正解

④患者の4度目の発言より、薬の服用は痛みを抑えるためであり、誤り

⑤because以下が不適

Conversation 2

**32　②**

○assign/任命する○deal with A/Aを扱う

①arrange「用意する」教授はone by one「一人一人」と述べているため、simultaneously「同時に」は誤り

②教授の3度目の発言に一致するため、正解

③他の学生がクラブ活動に忙しいため誤り

④述べられていないため、誤り

⑤because以下が述べられていないため、誤り

Conversation 3

**33　⑤**

○faint/「失神する」○significant/「重大な」○respiration/「呼吸」○in person/自分で

②refuse「断る」

④respiratory「呼吸の」

①abnormal soundsであるため誤り

②Dr.changの6度目の発言と矛盾するため、誤り

④Dr.Morrisの4度目の発言と矛盾するため、誤り

Conversation ４

**34　④**

○drowsy/「眠い」○manage to do/「なんとかdoする」○paramedic/「診療補助者」○overhear/「ふと耳にする」○pedestrian/「歩行者」○so far/「今までのところ」○stich/「踏み出すこと」○contusion/「打撲傷」○discharge/「束縛から解放される」

①はJohnの最後の発言とは異なる

②green carであり、red lampであるため誤り

③、⑤は両者の4度目の発言と矛盾するため、誤り

④Cindyの６度目の発言に一致

Conversation 5

**35　①**

○cramps/「腹痛、生理痛」○indigestion/「消化不良」○unbearable/「耐えられない」○as if/「まるで」○bellybutton/「へそ」○appendicitis/「虫垂炎」○inflammation/「炎症」

①医師の最後の発言に一致

②最終発言に矛盾

③getting betterではないため、患者の6度目の発言に矛盾

④患者の2度目の発言に矛盾

⑤患者の3度目の発言に矛盾

SECTION6

和訳

　今日の公共サービスにおける一般診療委の需要の高まり

　一般診療という分野は複雑で多様で、そして難しくなっている。医学における専門化現象が今までになく広がり、それに関連して技術や病院の基準が複雑になるのに伴って、有能で思いやりのある一般医の必要性が、今までになく重要になっている。

　一次医療の基本のいくつかは今までと変わらない。実際、人間を襲う医学的問題の多くの質は相変わらずで、例えば、詰めの隙間のとげ、ものもらい、末期疾患、さらには、ただのストレスがらみの不安といったものである。治療法や、看護の技術的アプローチの多くは普遍的で時代に左右されないものである。残念なことに、現代の一般開業医は50年前の同業者と比べると、カウンセリングや治療の技術の多くを失ってしまっている。

　一般診療は依然として最も費用対効果の良い公共医療サービスであり、公共医療サービスであり、医療制度における高額で高度な技術で非人間的なサービスに対する解決策として消費者や諸官庁は今まで以上に一般開業医に期待しているという証拠がある。彼らは不適切な侵襲的検査や強力な薬物を伴うことのない、価値、満足、早期診断、全体管理を求めている。

　一般診療という分野は、時として、その広さ、奥深さに圧倒される場合がある。特に、器質的側面と社会手心理的側面が重なりあって区別されていない問題を抱えている患者の場合などはそうである。適切な早期診断を行い、ずっと潜伏している生命を脅かすような病気を発見するという絶えざる難題がある。

＜出題された単語・熟語・文法＞

○discipline/「訓練、学問分野」○competent/「有能な、資格のある」○eyelid/「まぶた」○counterpart/「相対物」○depersonalize/「非脱個人化」○invasive「侵害の」○potent/「効能のある、信用させる」○overlap/「一致する」○detect/「見つける」

**36　④**

①because of以下が第３段落第2文に矛盾

②by using以下が第３段落第２文に矛盾

③increase以下が記述なし

④第3段落第2文と一致

⑤記述なし

**37　①**

①第１段落第２文に一致

②it is necessary以下が記述なし

③too以下が第2段に矛盾

④hospital based medicineの記述なし

⑤specialistsについての記述なし

**38　④**

①第2段落より、should not以下が誤り

②essentially the sameが誤り

④but以下が誤り

④第3段落第２文に一致するため、正しい

⑤has more skillsが誤り

**39　①**

①最終文に一致するため、正解

②highly focused and specializedが誤り

③only以下が誤り

④does not need to considerが誤り

⑤should focus on making a clear distinctionが誤り

**40　②**

general practiceが必須なので①、②、⑤になる

①hospital based medicineが誤り

⑤the use ofが誤り

SECTION7

和訳

医者患者の意思疎通モデル

　医者、患者の意思疎通、例えば、患者の尋ねてくる質問、情報を伝えたり、治療法を進めたりする時の方法は様々な形をとることができる。意思疎通のモデルを公式化することは、医者、患者の関係を考えるうえで役に立つ。しかし、これらは絵誘導的な概念である。有能で思いやりのある医者は、異なる患者に対して異なるアプローチを用いるし、それどころか、同じ患者に対しても、時期や医療状況の変化に伴って、異なるアプローチを使う場合がある。

１、父権モデル

医者、患者間の父権的な関係においては、医者が最もよく知っていると考える。医者が治療法を指示し、患者は質問などせずに従うことが求められる。さらに医者はそれが患者の最善の利益になると考えられる場合は、情報を差し控えるという欠点をする場合もある。このモデルは独裁モデルとも呼ばれており、医者が質問の大半を行い、一般的に問診で支配的立場にある。

　父権モデルが望ましい状況がある。緊急事態においては、医者が支配権を握って、熟考することなく、命を救う可能性のある決断をする必要がある。さらに、患者の中には自分の病気に打ちのめされているものもいるので、医者が責任を負っていると安心する。しかし、一般的に、父権的アプローチには価値観の衝突リスクがある。例えば、父権的な産科医が、分娩に脊髄麻酔を使うことを求めているのに、患者は自然分娩をしたがっているということがおこりうる。

２、情報提供モデル

　このモデルにおける医者は、情報を提供する。利用可能なすべてのデータは自由に提供されるが、選択は全面的に患者にゆだねられる。例えば、医者は、乳がんに対する様々な治療法の5年後生存率に関する統計を引用し、女性に、提案やそのデータからの推論を一切せず自分なりの判断を下すように求めるかもしれない。このモデルは確立された人間関係が存在せず、患者が知り合いの医者の通常の治療に戻っていくことが予定されるような、ある種の1回限りの診療には適している場合がある。そうでない場合には、この純粋な情報提供アプローチは患者を非現実的なほど自律的であるとみる傾向にあるからだ。

３、解釈型モデル

　自分の患者のことをよく知るようになり、患者の生活、価値観、希望、願望といった状況を多少なりとも理解している医者は一人一人の患者固有の特徴を考慮に入れたアドバイスをより上手くすることができる。医者が選択肢を提示して話し合い、患者が参加して、その特定の患者に最適な選択肢を選ぶので、意思決定の責任を否定しているのではなく、柔軟であり、批判や他の提案を考慮することもいとわないのだ。

４、審議モデル

　このモデルにおける医者は、情報を提示するのみならず、特定の行動方針を積極的に推奨することによって、患者の友人やカウンセラーの役割を果たす。審議アプローチは、有害な行為を改めさせようとする医者が、例えば、患者に禁煙や原料をさせようとするときに一般的に用いられる。

　これらのモデルは、医者、患者間の関係について考えるための指針に過ぎない。どれか1つのモデルがほかのモデルよりも本質的に優れているというわけではなく、医者は１回の診療で患者に接する際に、4つ全てのアプローチをする場合もある。問題が生じる可能性が高いのは特定のモデルを使用する場合ではなく、医者が1つのアプローチにかたくなにしがみついていて、必要で望ましいばあいですらやり方お変えられない場合である。さらに、これらのモデルは、対人間の温かさの有無を表すものではない。患者が父権的、独裁的医者のことを人間味があって、気遣い、心配してくれていると考えることは多いにありうる。実際、20世紀初頭の小さな町や田舎の医者の一般的なイメージは神座の福祉のために全身全霊で臨む男性であり、女性であることはほとんどなかった。その医者は真夜中にやってきて、ベッドのそばに座り、患者の手を握る。日曜日の晩餐に招かれる。そして、自分の指示が正確に質問など挟まずに守られていることを求める。

○convey/運ぶ

○fluid/変わりやすい

○talented/有能な

○indeed/ほんとうに

○vary/多様な

○paternalistic/父権主義の

○clash/衝突

○spinal/脊髄

○childbirth/出産

○dispense/投与する

○wholly/すべての

○quote/引用する

○interference/干渉

○autonomous/自主的な

○aspiration/願望

○deliberative/思慮深い

○injurious/有害な

**4１　⑤**

①同モデルの第１段落第４文

②第１段落第３文

③第１段落最終文

④第１段落第４文

⑤the most ethical「最も倫理的」と書かれていないため、正解

**42　①**

①記述がないため、誤りであり、正解

②同モデルの第２、３文

③第4文

④最終文

⑤第３、４文

**43　②**

①同モデルの第3文

②最終文に矛盾

③、④第2文

⑤第３文

**44　①**

①第1文とは異なるため、正解

②～④同モデルの第2文

⑤最終文

**45　③**

①、②最終段落第２、３文

③第２、３文に矛盾

④最終文

⑤第４、5文

＜出題された単語・熟語・文法＞

○investigate/を研究する

○fatty/脂っこい

○affect　A/Aに影響を与える

○effect/名/影響、他/変化をもたらす

○take effect/影響を持つ

○give effect to/影響を与える

○prescription/処方箋

○up to A/Aによる

○consent/に同意する

○procedure/手続き

○owing to A/Aのために

○lymph /リンパ

○node/結び目、結節

○lymph node/リンパ節

○indicate/を示す

○swell 腫れる

○credibility/信用性

○life expectancy/ 平均余命

○infant mortality/乳児死亡率

○linguistically/言語的に

○appropriate/適切な

○crucial/重要である

○be associated with/を連想する

○palliative/苦痛を軽減する

○comprehensive/理解力のある、包括的な

○ask 人 a favor/人にお願いをする

○do人 a favor/人のお願いをきく

○To whom it may concern/関係者各位

○cardiac/心臓病の

○cardiac arrest/心臓停止.

○witness/を目撃する

○have a reputation as(of)　A/Aという評判がある

○patient with A/A病の患者

○bring for A /Aをもたらす

○hope in A/Aを願う

○order out /注文する

○treat to A/Aを扱う

○wish A on B/AをBに望む

○difficult patient/慢性疲労患者

○thrilled/ぞくぞくする

○the list of　A/Aの一覧表

○get rid of A/Aを取り除く

○do justice to A/Aを正当に評価する

○prescribe/を処方する

○lightheaded/飲みすぎ、熱でふらふらする

○bent/曲げる

○last/続く

○dosage/1回分の投薬量、適量

○assign/任命する

○deal with A/Aを扱う

○faint/失神する

○significant/重大な

○respiration/呼吸

○in person/自分で

○drowsy/眠い

○manage to do/なんとかdoする

○paramedic/診療補助者

○overhear/ふと耳にする

○pedestrian/歩行者

○so far/今までのところ

○stich/踏み出すこと

○contusion/打撲傷

○discharge/束縛から解放される

○cramps/「腹痛、生理痛」

○indigestion/「消化不良」

○unbearable/「耐えられない」

○as if/「まるで」

○bellybutton/「へそ」

○appendicitis/「虫垂炎」

○inflammation/「炎症」

○discipline/「訓練、学問分野」

○competent/「有能な、資格のある」

○eyelid/「まぶた」

○counterpart/「相対物」

○depersonalize/「非脱個人化」

○invasive「侵害の」

○potent/「効能のある、信用させる」

○overlap/「一致する」

○detect/「見つける」

○convey/運ぶ

○fluid/変わりやすい

○talented/有能な

○indeed/ほんとうに

○vary/多様な

○paternalistic/父権主義の

○clash/衝突

○spinal/脊髄

○childbirth/出産

○dispense/投与する

○wholly/すべての

○quote/引用する

○interference/干渉

○autonomous/自主的な

○aspiration/願望

○deliberative/思慮深い

○injurious/有害な